

令和 7 年 8 月 2 日

町民と議員のタウンミーティング in 羽場区 開催報告

報告者：舟橋 秀仁

開催日時 令和 7 年 8 月 2 日 19:00～20:35

場所 羽場コミュニティセンター

出席者 議員 14 名 羽場区民 19 名

【概要】

本会議は辰野町議会が主催するタウンミーティングで、羽場区民と議員の意見交換の場として開催されました。なお、信濃毎日新聞社が取材のため、傍聴されました。

会議では、区民から多岐にわたる質問や提案がなされました。最初に尾坂氏より「明るい街づくり」の提案があり、辰野町の光学メーカーの特色を活かした取り組みや、町の中心点からビームを出す案が提示されました。これに対し議員からは、中学生からも同様の提案があったことや、交通安全上の懸念点などが説明されました。

次に渡辺氏から辰野病院の財政状況について質問があり、年間 4～5 億円の一般会計からの繰入について、将来的な運営形態の見直しの必要性が議論されました。議員からは、地方交付税の仕組みや病院経営の難しさ、医師確保の課題などが説明されました。

守山氏からは小学生の通学時の負担（水筒やカバンの重さ）に関する質問があり、熱中症対策も含めた早急な対応の必要性が指摘されました。これに対し、各学校での対応状況や、カバン選択の自由化などの取り組みが紹介されました。

中谷氏からは子どもたちの通学路の安全性について質問があり、特に駅から国道までの道路の危険性が指摘されました。議員からは地域や育成会との協議の必要性が述べられました。

熊谷氏からは小中学校のあり方検討委員会による学校統合計画について質問があり、南小学校と辰野小学校の統合に関する懸念が示されました。議員や町民からは人口減少の現状を踏まえた議論の必要性や、一方で人口増加策の重要性も指摘されました。

その他、町長への目安箱の運用状況、有害鳥獣（熊）対策の予算と対応、ホタル祭りの活性化などについても意見交換がなされました。

会議の最後に塚間区長からまとめの挨拶があり、多様な意見を今後の区政に活かしていく姿勢が示されました。

【詳細】

・開会の挨拶と議員紹介

会議は舟橋議長の司会で始まり、タウンミーティングの趣旨説明がありました。このタウンミーティングは4～5年前に始まり、コロナで3年ほど中断した後再開されたもので、今回が16回目とのことです。議員には直接の執行権はないものの、町民からの意見を検証し、必要に応じて行政への要望につなげていく意向を示しました。塚間区長からは辰野町の現状について、約210戸、人口約240人、75歳以上の割合が約2割という地域の特徴が説明されました。その後、出席している14名の議員全員が自己紹介を行いました。

・明るい町づくりの提案

尾坂氏から明るい町づくりの提案がありました。辰野町には光学メーカーが多く、その特色を活かした取り組みとして、夜間の安全対策（反射材の活用など）や町の中心点からビームを出す案が提示されました。古村議員から、中学生からも同様の提案があったことや、電気の引き込みの課題、中央自動車道からの視認性による交通安全上の懸念点などが説明された上で、更なる後押しをする旨の話をしました。

・辰野病院の財政状況について

渡辺氏から辰野病院の財政状況について質問がありました。年間4～5億円の一般会計からの繰入について、将来的な持続可能性を懸念する意見が出されました。小林議員からは、単純な町の自主財源の投入ではなく、国からの交付税の仕組みがあることが説明されました。また、医師確保の困難さや、病院の運営形態の見直しの必要性についても議論されました。議員からは、病院経営は辰野町だけでなく全国的に厳しい状況であること、病児病後児保育所の設置など若い世代向けのサービス拡充の取り組みも紹介されました。

・小学生の通学時の負担について

守山氏から小学生の通学時の負担（水筒やカバンの重さ）に関する質問がありました。特に暑い時期の熱中症対策も含め、早急な対応の必要性が指摘されました。松澤議員からは、教育長が各学校に任せるとの回答をしたことが報告されましたが、実際の対応状況については確認が必要との認識が示されました。また、牛丸議員よりカバンの選択肢を増やすなど、両小野小学校での取り組み事例も紹介されました。

・子どもたちの通学路の安全性について

中谷氏から子どもたちの通学路の安全性について質問がありました。特に駅から国道までの道路の危険性が指摘され、車と子どもたちの接触リスクへの懸念が示されました。議長から、通学路は地域住民の意見を踏まえて決められていることや、今後の道路拡幅工事に伴い、育成会や区との協議が必要であることが述べられました。他の

自治体では通学時間帯の車両進入規制などの対策もあることが紹介されました。

・小中学校のあり方検討委員会と学校統合計画

熊谷氏から小中学校のあり方検討委員会による学校統合計画について質問がありました。南小学校と辰野小学校の統合に関する懸念が示され、特に南小学校が3年半前に5億2000万円をかけて改修されたことへの疑問が呈されました。熊谷氏自身も検討委員会の委員であり、メリット・デメリットの議論や地域での話し合いの必要性を提案したことが報告されました。議員からは、教育関係者中心の検討になりがちな現状に対し、より幅広い視点からの検討の必要性が述べられました。町民からは人口減少の現状を踏まえた議論の必要性や、一方で住宅政策など人口増加策の重要性も指摘されました。

・町長への目安箱の運用状況

今井氏から町長への目安箱の運用状況について質問がありました。投稿された内容がどのように扱われ、結果が公開されているかについての疑問が呈されました。本田議員からは、プライバシーの問題もあり内容の公開は限定的であること、議会には内容が共有されていないことが説明されました。また、他の自治体では投稿内容や対応を公開している例もあり、今後の改善の余地があることが述べられました。

・有害鳥獣（熊）対策の予算と対応

守山氏から有害鳥獣（熊）対策の予算と対応について質問がありました。特に猟友会員への出動手当の不足が指摘され、命がけの仕事に対する適切な予算配分の必要性が述べられました。吉澤議員からは、今年から出動手当が支給されるようになったことや、熊の駆除判断が市町村長に委ねられるようになった法改正の状況が説明されました。また、有害鳥獣の定義や対応の難しさについても議論されました。

・多面的機能支払交付金の支払いタイミング

小松氏から多面的機能支払交付金の支払いタイミングについて質問がありました。現状は9～10月頃に交付金が支払われる。その間、業者への支払いを立て替える必要があり負担との指摘がありました。林議員からは、国の公金の仕組みとして実績に対して支払われる制度になっていることが説明されましたが、支払いのタイミングについて行政課に確認する意向が示されました。

・ホタル祭りの活性化について

渡辺氏からホタル祭りの活性化について質問がありました。現状の踊りの参加方法や屋台の配置などについて、より多くの人に参加できる工夫の必要性が指摘されました。議員からは、かつては学校単位での参加や衣装の統一など盛り上がりがあったこと、コロナ後の回復途上であることなどが説明されました。また、運営主体が商工会

から町役場中心に変わった経緯や、限られた予算と人員での運営の難しさについても議論されました。

・閉会の挨拶

舟橋議長から閉会の挨拶があり、タウンミーティング参加へのお礼と時間の都合で発言できなかった方へのお詫び、そして次回の参加への呼びかけがありました。塚間区長からは多岐にわたる意見交換への感謝と、今後も区民の声を聞く機会を設けていく意向が示されました。最後にアンケート記入の依頼があり、会議は終了しました。

【今後のアクション】

- ・中心点からのビーム設置について、電気の引き込みや交通安全上の懸念を考慮しつつ、引き続き検討する。
- ・辰野病院の運営形態について、将来を見据えた抜本的な見直し等町に要望していく。
- ・小学生の通学時の負担（カバンの重さ、熱中症対策）について、各学校での対応状況を確認する。また、他の自治体の取り組みについて調査する。
- ・福祉教育常任委員会が小中学校のあり方について、現場の声を聞きながら独自の提言を検討する。
- ・町長への目安箱の運用状況と投稿内容の公開方法について、総務課に確認する。
- ・多面的機能支払交付金の支払いタイミングについて、担当課に確認する。

以上

